

PAT-NO: JP406227681A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06227681 A  
TITLE: DOCUMENT PRESSING DEVICE

PUBN-DATE: August 16, 1994

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
MATSUMOTO, HIROSHI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP05014473  
APPL-DATE: February 1, 1993

INT-CL (IPC): B65H001/08 , B65H001/12

US-CL-CURRENT: 271/127

**ABSTRACT:**

PURPOSE: To provide a copy pressing device capable of eliminating influence by dispersion of measurement of a plate spring pressed by a paper feeding roller and restraining ununiformity of pressing force influencing on the paper feeding roller of the plate spring at the time of carrying a document.

CONSTITUTION: On a plate spring 12, at a position nearer to a paper feeding roller 11 than two projection parts 18 of a first plate material 13, one projection part 19 is provided, as the total three projection parts namely the projection part 19 provided on the plate spring 12 and the two projection parts 18 provided on the first plate material 13 take keep delicate balance. it is possible to uniformly press the plate spring 12 on the paper feeding roller 11.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-227681

(43)公開日 平成6年(1994)8月16日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 H 1/08		C 8712-3F		
1/12	3 1 0 C	8712-3F		

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-14473

(22)出願日 平成5年(1993)2月1日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 松本 浩

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

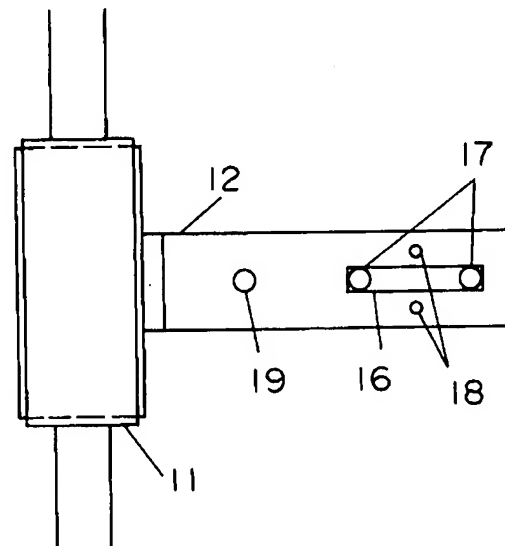
(74)代理人 弁理士 小鍛治 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 原稿押圧装置

(57)【要約】

【目的】 給紙ローラに押圧される板バネの寸法のばらつきによる影響を無くし、原稿搬送時における板バネの給紙ローラに及ぼす押圧力の不均一を抑制する原稿押圧装置を提供する。

【構成】 板バネ12には第一の板材13の二つの突起部18よりも給紙ローラ11に近い位置に一つの突起部19が設けられ、板バネ12に設けられた一つの突起部19と第一の板材13に設けられた二つの突起部18に計三つの突起部が微妙な平衡をとることにより、板バネ12が給紙ローラ11に均一に押圧されることができる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】電子ファイリングシステム等に用いられる原稿給紙装置の原稿押圧装置において、給紙ローラと、原稿を給紙ローラに押圧する給紙板より構成され、前記給紙板は板バネと、前記板バネを上方と下方から保持する第一の板材と、第二の板材よりなり、前記板バネには前記給紙ローラに押圧される一端と反対に位置する他端に、前記給紙ローラの軸方向と垂直にスリットがあり、前記第二の板材には前記スリットと平行に係合する二つの突起部があり、又、前記第一の板材には前記給紙ローラと平行で、且つ、前記板バネの前記給紙ローラを押圧する一端と反対に位置する他端に、前記スリットに対称な位置に対応するように二つの突起部があり、前記板バネには前記第一の板材の二つの突起部よりも前記給紙ローラに近い位置に一つの突起部が設けられることを特徴とする原稿押圧装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、電子ファイリングシステム等に用いられる、給紙装置の原稿押圧装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】図5は、従来の原稿押圧装置の斜視図である。又、図6は図5の原稿押圧装置の側面図である。板バネ1は固定部2により給紙板3に固定されている。前記給紙板3は支点4を中心として回転可能であり、付勢手段のバネ5により前記給紙板3は給紙ローラ6に押圧されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、板バネ1の取付部分が固定部2により完全に固定されているために、板バネ1単体の寸法のばらつきや、板バネ1が給紙板3に固定する際発生する歪により、原稿搬送時の押圧力の不均一が生じ原稿給紙時原稿が斜行する恐れがある。

【0004】本発明はこの斜行を防止した原稿押圧装置を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するために、給紙ローラと、原稿を給紙ローラに押圧する給紙板より構成され、給紙板は板バネと、板バネを上方と下方から保持する第一の板材と、第二の板材よりなり、板バネには給紙ローラに押圧される一端と反対に位置する他端に、給紙ローラの軸方向と垂直にスリットがあり、第二の板材にはスリットと平行に係合する二つの突起部があり、又、第一の板材には給紙ローラと平行で、且つ、板バネの給紙ローラを押圧する一端と反対に位置する他端にスリットに対称な位置に対応するように、二つの突起部があり、板バネには第一の板材の二つの突起部よりも給紙ローラに近い位置に一つの突起部が設けられ、板バネに設けられた一つの突起部と第一の板

2

材に設けられた二つの突起部の計三つの突起部により、板バネが給紙ローラに均一に押圧されるように構成する。

## 【0006】

【作用】上記手段の採用により、板バネの寸法のばらつきがあった場合、三カ所のうち二カ所の突起部により姿勢を保持することになり、板バネは給紙ローラに対し常に均一に押圧されることになるし、又、従来板バネを給紙板に完全に固定することによって発生していた、原稿搬送時における板バネの給紙ローラに及ぼす押圧力の不均一も抑制できる。

## 【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例における原稿押圧装置について、図1、図2及び図3を参照しながら説明する。図1に示すように給紙ローラ11と、原稿を給紙ローラ11に押圧する給紙板100より構成され、給紙板100は板バネ12と、板バネ12を上方と下方から保持する第一の板材13と、第二の板材14より構成され、第一の板材13と第二の板材14が固定部15によって固定されている。図2に示すように、板バネ12には給紙ローラ11に押圧される一端と反対に位置する他端に、給紙ローラ11の軸方向と垂直にスリット16があり、第二の板材14にはスリット16と平行に係合する二つの突起部17がある。又、第一の板材13には給紙ローラ11と平行、且つ、板バネ12の給紙ローラ11を押圧する一端と反対に位置する他端に、スリット16に対称な位置に対応するように二つの突起部18があり、板バネ12には第一の板材13の二つの突起部18よりも給紙ローラ11に近い位置に一つの突起部19を設ける。図1の状態では板バネ12は突起部18に接触していない。図3は付勢手段のバネ20により給紙板全体が支点21を中心として回転し、板バネ12が給紙ローラ11に押しつけられた状態を示す。板バネ12の寸法にばらつきがあった場合、図4に示すように給紙ローラ11に押しつけられた板バネ12は、一つの突起部19と第一の板材13に設けられた二つの突起部18のうち一方の計二カ所の突起部で第一の板材13と第二の板材14と微妙な平衡をとることにより、板バネ12が給紙ローラ11に均一に押圧される。

## 【0008】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、従来板バネを給紙板に完全に固定することによって発生していた板バネ取付時の歪が少なくでき、板バネの寸法のばらつきがあった場合でも、給紙板の給紙ローラ押圧時、板バネは板バネ及び板材1に設けた三カ所のうち二カ所の突起部により姿勢を支持し微妙な平衡をとることにより、板バネは給紙ローラに対し常に均一に押圧されることで、原稿搬送時における給紙ローラ押圧力の不均一による原稿の斜行を抑制できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における原稿押圧装置の構成図

11 給紙ローラ

【図2】本実施例における板バネの平面図

12 板バネ

【図3】本実施例における原稿押圧装置の構成図

13 第一の板材

【図4】本実施例における原稿押圧装置を原稿搬送方向と同一方向から見た図

14 第二の板材

16 スリット

17 第二の板材に設けられた突起部

【図5】従来の原稿押圧装置の斜視図

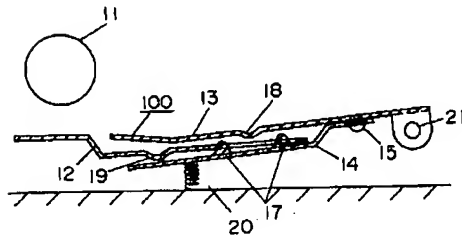
18 第一の板材に設けられた突起部

【図6】従来の原稿押圧装置の構成図

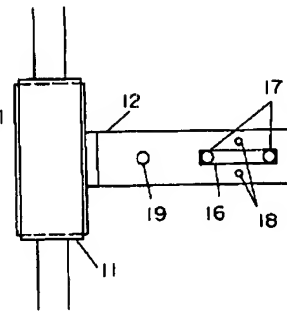
19 板材に設けられた突起部

【符号の説明】

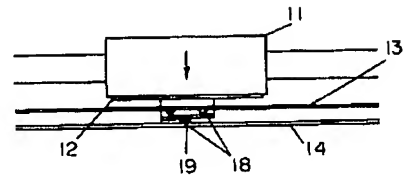
【図1】



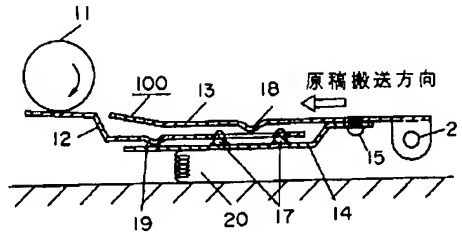
【図2】



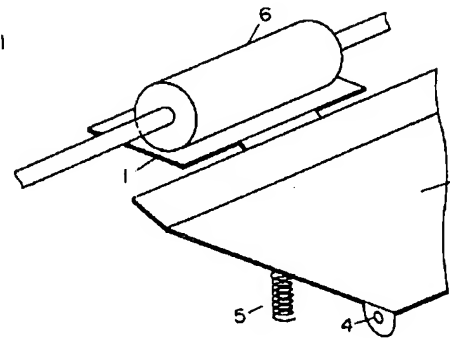
【図4】



【図3】



【図5】



【図6】

